

# 千葉県感染症発生動向調査情報

2016年 第26週 (6/27-7/3) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		26週	25週	24週	23週
小児科		18	18	18	18
眼科		5	5	5	5
インフルエンザ*		28	28	28	28
基幹定点		1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは  
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	注意報	千葉県				千葉県 6/20-6/26 25週
			千	葉	市		
			6/27-7/3 26週	6/20-6/26 25週	6/13-6/19 24週	6/6-6/12 23週	
小児科	RSウイルス感染症		2 0.11	0 0.00	0 0.00	0 0.00	4 0.03
	咽頭結膜熱		7 0.39	13 0.72	18 1.00	16 0.89	79 0.59
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	85 4.72	70 3.89	67 3.72	85 4.72	535 3.99
	感染性胃腸炎		111 6.17	141 7.83	164 9.11	148 8.22	740 5.52
	水痘		7 0.39	23 1.28	16 0.89	16 0.89	85 0.63
	手足口病		18 1.00	4 0.22	1 0.06	5 0.28	73 0.54
	伝染性紅斑		6 0.33	5 0.28	7 0.39	5 0.28	51 0.38
	突発性発しん		24 1.33	16 0.89	14 0.78	21 1.17	84 0.63
	百日咳		1 0.06	0 0.00	0 0.00	0 0.00	4 0.03
	ヘルパンギーナ		34 1.89	12 0.67	4 0.22	2 0.11	92 0.69
	流行性耳下腺炎		6 0.33	7 0.39	12 0.67	10 0.56	153 1.14
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.04	3 0.01
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.03
	流行性角結膜炎	○	11 2.20	9 1.80	7 1.40	9 1.80	26 0.74
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	8 0.89
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		1 1.00	0 0.00	0 0.00	1 1.00	0 0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患(7件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	10歳未満	ツベルクリン反応等	結核	男性	80歳代	胸水ADA値の上昇
結核	男性	30歳代	IGRA検査等	結核	女性	40歳代	IGRA検査等
結核	男性	50歳代	IGRA検査等	結核	女性	90歳代	画像診断
結核	男性	60歳代	病原体等の検出	-	-	-	-

・第26週は、結核7件(129)の報告があった。

※ ()内は2016年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

## 定点当たり報告数 第26週のコメント

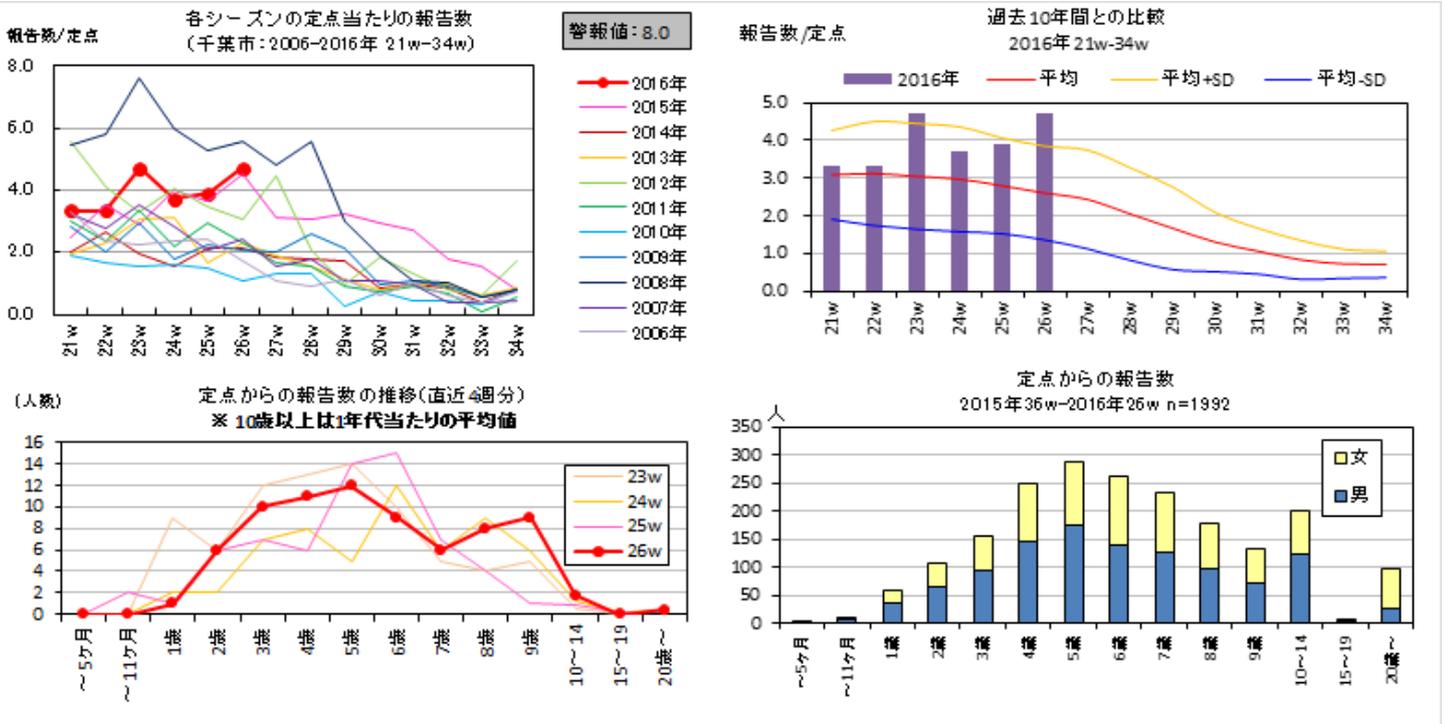
<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>前週より更に増加し4.72となった。過去10年の同時期と比べると多い。

<流行性角結膜炎>前週から更に増加し2.20となった。過去10年の同時期と比べると最多。

■ トピック ■

＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞

全国レベルの第25週は過去9年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では、北海道、長野県、大分県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルより多くなっています。千葉市の第26週は前週から更に増加し4.72となりました。過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、稲毛区(9.0/定点)で流行発生警報開始基準値(8.0/定点)を上回り最多で、同区の6歳で最も多く発生報告がありました。また、緑区(8.0/定点)では流行発生警報開始基準値に達しました。今シーズンである2015年第36週から2016年第26週までの累積報告数(n=1992)によると、性別では男性が56.3%(1121名)、女性が43.7%(871名)で、年齢階級別では5歳(14.5%:288名)、6歳(13.2%:263名)、4歳(12.6%:251名)の順に多くなっています。



＜流行性角結膜炎＞

全国レベルの第25週は過去9年の同時期と比べると多くなりました。都道府県別では、鹿児島県、神奈川県、長崎県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルよりやや少なめとなっています。千葉市の第26週は前週から更に増加し2.20となり、過去10年の同時期と比べると依然として最多のままとなっています。区別の発生状況は、美浜区(9.0/定点)で流行発生警報開始基準値(8.0/定点)を上回り最多で、同区の3歳で最も多く発生報告がありました。2016年第1週から第26週までの累積報告数(n=110)によると、性別では男性が45.5%(50名)、女性が54.5%(60名)で、年齢階級別では30歳代(27.3%:30名)、40歳代(13.6%:15名)、50歳代(8.2%:9名)の順に多くなっています。

